

次年度に向けて進む播種・定植作業

－育樹祭用コナラ播種及び京都の伝統産業に結びつく有用広葉樹の育成－

来年秋に京都で開催される育樹祭に向けてコナラの播種や、ハゼ蠟生産用ハゼの植栽が完了しました。コナラは、府内各地の各ボランティア団体が種子を集め、当センターが育成し、来春には一部の苗づくりを緑の少年団等に任せ、育てられたコナラ苗が育樹祭で活躍する予定です。

また、ろうそく用のハゼ、漆器用のウルシなどの京都の伝統産業に結びつく有用広葉樹の育成に向けて、苗畑にハゼ蠟採取に適した品種である「伊吉」、「昭和福」の 2 品種を植栽しました。ハゼ蠟の主産地は温暖な地域であることから、京都に適した品種の検討などハゼ蠟生産に向けての取組を進める予定です。また、ウルシについて品種を検討し、生産拡大につながるよう支援する予定です。



ハゼ蠟用ハゼ（左）とコナラ播種床（右）の植栽状況